

第16回久留倍官衙遺跡整備検討委員会 会議録要旨

1 日時

平成30年3月19日(月)午後2時から4時30分

2 場所

大矢知町 くるべ古代歴史館

3 出席者(順不同・敬称略)

【委員】

山中 章(委員長)・黒崎 直(副委員長)・岡田登・中川ゆかり・中森ゆき子・古市立美

【アドバイザー】

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 高松雅文主任

【事務局】

川尻秀納・葛山拓也・五十棲孝子・清水政宏・石毛彩子・堀越光信

4 傍聴者

なし

5 会議録(要旨)

【2 報告事項】

(事務局より活用について報告)

- | | |
|------|---|
| A 委員 | ご質問等お願いします。では、私から。このボランティアは追加補充もあるのか。 |
| 事務局 | 今回、ボランティアは期間を設けておらず、私たちがボランティアとの協働は初めてなので、運営をしながらつめていきたい。追加募集は現状では考えていない。
また、ボランティアさんは沢山いてもらってよいと思っているので、様子を見て沢山関わってもらえれば良いと考えている。 |
| B 委員 | 任期はないのか。 |
| 事務局 | 任期はない。ボランティアさんがやってもらえる限りはやっていただく。 |
| B 委員 | 男女の比率はどうか。 |
| 事務局 | 女性が12人くらいで、男女は2対1くらいの比率だ。 |
| A 委員 | 先日打合せに来てもらった時も言ったが、ボランティア募集を、三重大の学生は全然知らなかったと思う。ボランティアは年配者が多いと思うので、どういう形になるかはわからないが、学生が関わるのであれば、三重大に話をしてもよい。三重大にもたくさん四日市出身者がいるので、関わってもらってはどうか。後任の先生も熱心なので、私から話をしてもよい。実際に来てくれるかはわからず、追加の講習もしないといけないので大変と思うが、検討してもらいたい。 |
| 事務局 | ありがとうございます。若い方に来てもらおうと、そこから若い方にどんどん広がると思うので、うちの方でも、考えさせていただき、どのように入ってもらえるか検討したい。 |

- B 委員 皇學館大學も四日市出身者がいるが、具体的にどんなことをするのか。例えば日曜日だけ行っていいのかなどわかるようにしないと、学生はボランティアよりアルバイトに行ってしまう。その中で、こういうことだったらやってみてもいいと思うかもしれない。何時間くらい拘束されるか、1日拘束されるか、時間単位でもいいかとか、まだ経験していないのでわからないと思うが、何かモデルを作ってもらえると学生が参加しやすい。
- 事務局 4月から始まると見えてくると思うが、今のところ、午前と午後で分けており、午前は9時から13時、午後は13時から17時と4時間で分けてやっており、来てもらえる方が来てもらえる時間に来てもらう形で、そんなに縛るつもりはない。やってもらうことも、解説や体験の手伝い、あるいは、日常管理をしたいという人もいるので、動きながらどのような形になっていくかということだ。学生さんに来てもらうなら、勉強してもらって、解説に加わってもらうということができると思う。また、時間も来てもらえる時にということができると思う。
- B 委員 ボランティア募集の業務内容がどんなのかなど示してもらおうとよい。
- C 委員 そばに四日市大学があるが、人文系の学部はないのか。
- 事務局 環境情報学部、総合政策学部と経済学部。
- C 委員 環境・政策・経済学で、文学系はないか。
- 事務局 文学系はない。
- C 委員 地元の大学だが、ボランティアをやる人はいないということか。
- 事務局 四日市大学としてはCOC事業で地域志向のまちづくりやボランティア活動もやっているの、そういうところで協力してもらえばよい。研究としてそういうことをやっていなくても、地元の大学ということで、きてもらうということはあると思う。
- B 委員 いまのところガイダンス施設だけだが、公園がオープンしたら、坂道もあるし、あちこち行く子どもの相手とか、若い人でないと大変だと思う。30年度のボランティアは、ガイダンスを中心として活動してもらおうというイメージだろうが、公園にはまだ行けないか。
- 事務局 まだ工事中で行けない。
- B 委員 八脚門の工事がはじまったら、見学の時にボランティアの人に案内や先導してもらおうとか、そういうこともイメージしてもらいたい。
- 事務局 うちの方でそこまでまだ詰め切れていないが、年度ごとに来年度も続けてもらえるかという意思確認をしていく予定である。
- B 委員 30年度の方は市内の人か。
- 事務局 そうだ。
- B 委員 歩いてこられる人か。
- 事務局 半分以上は歩いてこられる距離の人。
- B 委員 それ以外は車か。
- 事務局 そうだ。だが、多人数が集まるのはイベントのときくらいで、その時は公園の西側に駐車場をお借りすることができるので、大きなイベントの時はそこを使う。
- B 委員 学生がちょっと来ようと思うと、駅から歩いてくることになり大変である。
- 事務局 駅を降りてからいろいろなところを巡りながらきてもらうよう、マップなどを作って宣伝する。駐車場は、さいわい地元の方が協力してくださるので、イベント時などは助かっている。

- A 委員 ボランティアとは違うが、齋宮跡(明和町)が行っているインターンシップなどはどうか。三重大は齋宮跡と提携してやっている。インターンシップは、文化財関係のところに入社するとき、条件が有利になるようである。四日市にとっては負担が増えるが、三重大生が四日市にいて、ボランティアをやってもいいということであれば、受け入れを考えてもらいたい。
- 事務局 ありがとうございます。四日市市役所には大学生のインターンシップの受け入れ制度があり、総務部の方でとりまとめて、学生さんの希望を聞き、割り振られてくるのが時々ある。その一つとして、ここで勉強してもらうことはあるので、考えさせていただきたい。
- A 委員 30年度の事業については、以上でよろしいか。
- D 委員 開館計画では、月曜・火曜が定休日、それ以外に結構水曜日が休みである。これで大丈夫か。開館間もなくは、4月11日や5月16日などの水曜日は開館した方がいいのでは。水曜日来てみたら休みということにならないか。
- 事務局 カレンダーは、久留信官衙遺跡公園というホームページで確認してもらえる。いろんな方法で周知する。
- D 委員 パンフレットを見ても水曜日は閉まっていることがあるということがわからない。
- 事務局 臨時休館になっている。
- D 委員 周知してもらいたい。
- B 委員 来た人はパンフレットに挟まれているカレンダーでわかる。来なかった人は分からない。
- 事務局 同じものをホームページに公開している。
- B 委員 ホームページをみなければわからない。
- A 委員 パンフレットはどのような範囲に送ったか。学校に送ったか。
- 事務局 学校には送っていない。これからする。
- A 委員 広報に定期的に載せるとかどうか。
- 事務局 広報に載せることも今後考えていく。
- C 委員 地元には回覧で回ってきた。来月4月14日に、富洲原で駅を降りて、長明寺から歩かれる団体がいると聞いた。その時に、こちらによって見学もしたいということで問い合わせをしたら、専門家の説明は難しいといわれたらしい。専門家の説明を依頼することについては伝えると昨日は言っておいた。団体で来る場合、講師の依頼があったら、職員に待機していただきたい。ボランティアには難しい。団体来場の情報は、こちらに入ったら入れる。
- 事務局 子どもの社会見学など団体がくるときは、社会教育課に連絡をもらって対応することになっている。4月はさすがに新しくきた職員にまかせっきりにはできないので、土日はフォローする。平日もどうかと思うので、職員が毎日行けるかまだ決まっていないが、土日の依頼のない急な団体さんでも4月、5月は対応しなければならぬと思っている。
- B 委員 公園の情報も出してもらいたい。1回見たら終わり、2度と来ないということがないように。歴史館は、基本的に盛りだくさんに物を並べるわけではないし、ずっと常設展なので、新しく刺激を受けられるように。公園の情報を出すと、公園は見られるのかということを知りたいと思うが、そのときにどうするか。職員に負担が行くのも大変だし、考えてもらいたい。
- 事務局 来年度は八脚門の工事になるので、工事中は安全面をとらなければならないので、公園には入らせられないと思っている。対応については、歴史館の電話番号は出すが、あとは本庁で受

ける。4月当初は、本庁の職員で対応するように考えていきたい。

A 委員
事務局
八脚門の工事は、かなりトラックとかは動くのか。
あまり動かない。多く動くのは資材搬入のときだけで、普段は中での作業である。乗り入れ口にゲートを設け、その中は敷鉄板をし、中にさらに工事ヤードを仮囲いする計画なので、資材搬入の時以外は、大型車両が入り出すことはないはずである。

A 委員
今日見たところでも、正殿などそれなりにできており、あれは外からも見えるし、通りかかった人も実際、できていると言っている。そうすると、ここに来た人もなぜ見せないかと言われる可能性が非常に高い。その辺の対応の仕方を統一しておかないと苦情が出るだろう。もし、工事の邪魔にならなければ、勝手にどうぞということもあるかと思うがどうか。

事務局
今までは開園前で工事現場なので、市の様式で施設の見学依頼をいただいたうえで、職員立会のもと、今日入ってもらった西側から入っていただくという形で、見学してもらっている。ただ、連絡をもらわずに見学している方がいるので、その安全対策が必要と思うが、一つは、今まで通り依頼をもらい、業者にも見学者が入るという連絡をしたうえで、職員立会のもと安全なところまで、裏手から入ってもらうことは可能と思う。

B 委員
内部に入らないように貼り紙をして、勝手に入って勝手に何かをしていかないようにしなければならぬ。今はフリーパス状態になっているので、見てきた人と見ていない人が出るのはよくない。

事務局
今は、一旦工事が終わっているのか、勝手に入っているかなという状態だが、工事が始まると八脚門のところは仮囲いするので、工事の期間中入るのは難しい。

B 委員
全面を仮囲いするのか。

事務局
全面はしない。通常状態は入り口にバリケードをして、立入り禁止にしている。工事の現場を工事業者に引き渡してから、返してもらうまでは業者に責任があるということになるので、中に人が入り事故があるといけないし、市教委が許可したということであれば問題が出てくるので、何かで見てもうることがある場合は、慎重に部分を区切ってということはさせていただくと思う。

A 委員
工事はいつから始まるか。

事務局
30年度が始まってから入札をして、何とか業者さんに手を挙げてもらい、落札してもらわないと始まらない。遅れると年度内完成できない。

A 委員
工期は何か月かとか決まっているだろう。

事務局
ほぼ1年。

事務局
今進めている最短の予定で、ゴールデンウィーク明けに業者が決まり、3月の中旬までの工期である。

事務局
1年でできるのかと言われることもあるが、ほぼ1年でできる。

B 委員
八脚門以外の工事が終わるのはいつか。

事務局
全体は31年度にできる予定。

B 委員
八脚門以外の表示工事にかかる時間はどのくらいか。

事務局
八脚門が一番かかる。

B 委員
今までは遺跡公園のオープニングという感じで考えていたが、八脚門のオープニングということにして、園内は整備された段階で入ってもいいとしてはどうか。

- 事務局 八脚門ができれば、あとは脇殿、塀とⅢ期の正倉院、園路、植栽があるので、工事範囲としては広く必要となる。
- C 委員 あと2年の計画で全部オープンできるか。
- 事務局 その予定である。
- C 委員 2年後に必ずオープンという予定は立たないのか。
- 事務局 それを目指しているが、予算の問題なのでできるとは言えない。
- C 委員 この間のボランティアのときもそうだが、集合場所を歴史館にすると、最初はわかりづらく、ものすごく大変だった。あと、入り口が側道の下り線からだけの一方通行で入りにくい。ここにくるとき、どこでどう曲がってどう来たらいいのか、地元の人でも、ここに来た経験がない人はご存知ない。まして、上にバイパスが通ってしまって古代歴史館は見えない。B 委員が言われたように、大きな看板を立てるべき。そうすれば、用がない人でも歴史館があることがわかる。今は何もない。それから、西入り口に小さな看板をつけてもらったが見えない。あと、ここには何も看板がない。だから、沢山の人にきてもらいたいのであれば、早急に看板を、立ててもらいたい。
- 事務局 駐車場の看板は、入り口を入ったフェンスの際に、くるべ官衙遺跡公園とその下の行にくるべ古代歴史館駐車場と書いたものを、この金曜日(3/23)にたてる。4mの幅 1.2mくらいのを、道路に向う形で、側道下から見える形のものを作る。
- E 委員 最寄り駅からの案内はあるか。
- 事務局 まだついていない。元々が公園オープンに合わせて設置する予定で、今年度は基本設計を作り、来年度、実施設計を作り、設置工事と考えていたので、ここのオープンに当たって設置するものは仮設的なものになると思うが、曲がるような角につけられないか、土地の管理者や所有者に承諾を得なければならぬが、そのようなことは考えている。
- E 委員 弥生文化博物館は、駅からすごく丁寧に、誰でも行けるように、細かく細かくついている。わかりにくいところなので。
- D 委員 舗装の色を変えて、この道を歩いてくださいとしている。
- E 委員 すごく親切だなと思う。道しるべ通り行けばつく。たいてい初めていく人が多いので、ここはわかりにくい。
- D 委員 自分の車で運転することを考えると、ここはわかりにくいので、私も車を運転して来ると事故を起こしそうだ。ある程度のところまで来たら、舗装までは言わないが、これに従っていったら駐車場に入れるなどを作ってもらいたいができないか。
- 事務局 計画を今作りつつあるところである。北勢バイパス沿いなので国道である。国道は、今、国の方で、災害の関係で看板を一切認めない形になっている。県道と市道は話を進めている。あと、車のナビにでるようには、何とかしていきたいと考えている。今、言っていた駅からというのも、しないといけない。
- C 委員 近鉄富田駅の周辺で、近鉄に看板の話をしたがうまくいかなかった。四日市高校のフェンスが横にある。学校なので、商売上の看板は出さないが、市との絡みの中で、あそこに看板を出したらいい。地図をいれたらわかりやすいのでは。一般の看板が立たないからこそ、ちょうど駅を降りた西側かどうか。市から接触いただくとありがたい。それともう一つは、三岐の大矢知駅。そばのどこかに地図を示した看板を立ててもらいたい。難しいかもしれないが、最寄りの駅でと言

われたら、そういうものが必要なのではないかと思う。カーナビで電話番号をいれたら、ここに
つくのか。

事務局 自動車メーカーのナビの会社から問い合わせもらった。8月に更新なので、是非ということ
でお願いしたので、秋以降は出ると思う。ナビは、メーカーごとに作っていて、メーカーの関係
の子会社になっている。

B 委員 車で走っている人から見ると、この建物の壁面が見える。壁面が空いているし、もったいない。
ここまで来ないと入り口の看板は見えないし、遠くから建物を理解してもらうようにするなら、壁
面にも看板をつけてはどうか。今の状態では、普通の民家にしか見えない。上のバイパスを走
っている人からすると、通り過ぎてしまったとなる。どこにあるかわからず、もったいない。

C 委員 これについては、確認した方がいい。何かつけられない理由があったはずである。建物の設
計の段階で、ここに看板をつける話は出たが、何かの理由で、品が悪いとかでつけないことにな
ったはずである。とにかく確認して、看板が PR 効果があるのであれば、品が悪いなら品の良
いものをつければいいので、おっしゃるとおりつけると良いと思う。

嫌なことをいうが、このようないいことは早くしてもらいたい。どうしても役所の人やることは
手続きを踏まなければならないということはあるが、民間ならすぐにやるという話がなかなかで
きない。今まではいつオープンかわからなかったが、一旦 25 日にスタートするとなれば、必要
なことは即やっていくということでなければいけない。オープンしたけど今までとかわらないとい
うことであればいけない。

A 委員 この間八尾市の弓削寺跡の現場を見に行ったが、調査が終わって更地になっている。発掘調
査で塔の跡が出てきて、そこに塔の巨大なカラーの復元図があり、弓削寺跡ととても大きな看板
が建っている。すぐ横は国道で、建っているのは敷地の中だが、見てびっくりして、ここにこん
なものがあったのかと思った。何故できたかという、市長の一言があったためで、弓削寺は、う
まく動いたので国の史跡にできたが、まだ何の整備もしていない。史跡になっただけで国史跡
弓削寺跡と、ものすごく目につく看板ができた。だから、行政が遅いのはいつもだが、市長の一
声のできる、是非市長に言ってもらいたい。

C 委員 そうするとあまり期待できない。森市長は久留倍に来たか。

事務局 3月の初めに。

C 委員 初めてか。

事務局 中を案内したのは初めて。

C 委員 もっと PR してもらわないといけない。

A 委員 ほかに何か。

F 委員 遺跡公園という形になると、犬を連れて人が来るのではないかと思う。よくあるのは、車で犬を
連れてきて散歩して帰るということがあると思うが、ペットの連れ込みは禁止とかはあるか。

事務局 普通の公園なので、ペット禁止は難しいと思う。マナーだけは守ってもらうように、何とかして
いきたい。

F 委員 糞は持ち帰りましょうとか、入り口に書いてあると、良識のある方は、守られるのでそういう表示
も必要である。

事務局 車は、駐車場があるので、公園のところまで入ることはないと思う。

A 委員 事務局	我々委員に関わることだが、外部講師をやれということだが、先生方よろしいでしょうか。 また具体的には、これから決めていくので、個々にご連絡させていただきたい。とりあえず1周年の時には、八脚門ができるので、箱崎先生にその話も含めてお願いさせていただいたところである。また、みなさん是非、お引き受けいただきたい。
A 委員	ということで 30 年度の事業についてご了解いただいたということで、次の協議事項に移ります。
(事務局より工事について説明)	
C 委員	トイレの設計の横に倉庫をくっつけて建築できないかというお願いをしているがどうなっているか。
事務局	今の予定では、トイレ男女と多目的の横に 10 m ² くらいの倉庫をつける予定。
C 委員	10 m ² というと3×3m程度。以前から申し上げているが、正殿あたりでイベントをする場合に使う、机とかパイプイスとかを収納する場所がある。こちらのガイダンスの倉庫はもう一杯で入れられないので、トイレと一緒に倉庫を建てて、机、イス、幟などの収納スペースを同時に考えていただくと、歴史館から運ぶ必要がなくなる。
事務局	このトイレは、補助対象になる。物置は補助対象外で、かつ、物置を置くとなると法的な関係とかいろいろなからみが出てきて難しい。トイレに物置をつける形で県からもご理解いただいている。
C 委員	同じ建物になるということか。
事務局	同じ建物で、トイレがメインになるので、それ以上大きくするのは難しい。
C 委員	その広さで、例えばパイプイス50脚とか、会議机何十本とか入るのか。
事務局	全部は入りきらないかもしれない。
C 委員	今、計画しておかないと、将来は絶対にできない。置き場に絶対困る。年に何回か、正殿でイベントなどを行うときには困るだろう。以前、倉庫がだめなら貨物のコンテナを1つ置こうかという話があった。そうしたら、自走式の草刈機やそれ以外の物品も入れることができる。今、やっておかないといけない。
C 委員	10 m ² でいいのかはわからないが、もっと広い方がいいのではないかとというのが、一つの要望である。来年度の予算で建てるのであれば、今言わなければ間に合わない。必要なものは今作っておかないといけないだろう。
事務局	収納するものを考えて、10m ² で足りるか検討する。
C 委員	将来の正殿のところの広場のイベントということで考えたとき、イスとか机とかそれなりのスペースがある。
A 委員	今、すべて回答するのは難しいと思うので、検討してもらいたい。倉庫の件はC委員がおっしゃることももっともなので、それも含めて調整してもらいたい。ほかに、ご意見がなければ、協議に入る。

【3. 協議事項】 ※議論を説明板ごとに整理したため、一部の発言の順番が入れ替わっています。

(事務局より協議事項について説明)

〔説明板全般について〕

- D 委員 写真類は基本的に白黒でやるか。
- 事務局 できるだけカラーにしたい。調査時の写真で白黒しかよいものがなかった場合は、白黒になる。基本的にリバーサルを撮っているのでカラーでできるはず。
- D 委員 できるだけカラーがよい。
- A 委員 ほかにどうか。
- D 委員 ⑧の長大な建物。「考えています」と「考えられます」が出てくる。⑤の脇殿は「考えられます」で、⑧の長大な建物は「考えています」となっている。「考えられます」と「考えています」は違うのか。
- 事務局 「考えています」と「考えられます」は、「考えています」は表示などで書いてあるもので、「考えられます」は、脇殿のところもそうだが、何に使っていたかわからず、どんな建物かわからないので、一般論という意味で使っている。
- D 委員 だが、⑥も「考えられます」を使っている。
- 事務局 ⑥も中に何が入っていたかわからない。
- D 委員 使い分けしているということか。
- 事務局 そうである。倉庫の説明は、結局、何が入っていたかわからないと書いている文章になっている。
- 事務局 「考えられます」の方が、一般の人が見たときにはいい。
- B 委員 「考えています」だと、あなたが考えているのだろうということになる。
- 事務局 「考えられます」に統一する。

〔正殿の説明板について〕

- B 委員 正殿の前で宴会をするのか。あんなところで御座を敷いて酒を飲むのか。
- A 委員 II期のあの絵は、宴会をしている。
- B 委員 床の上で宴会をすることはあっても、土間で宴会はどうか。
- A 委員 土間は使わないか。
- B 委員 『儀式』ではどうなっているか。
- A 委員 都では、豊楽院では、前の広場も使う。郡衙ではわからないが。
- B 委員 野ざらしですするのか。あと、宴会でいいか。宴会だと、酒を飲んで騒ぐイメージである。
- D 委員 あの絵は宴会をしているのか。座って御膳がならんでいるのか。
- B 委員 あれは頓宮のイメージ。
- 事務局 II期の大きな建物が聖武の行幸に関係していないかという指摘がある中で、あれは長大な建物の半分を描いている。実は、こっちに長く続いているが、真ん中付近に天皇らしい人がいて、建物の中では手前の方に描かれているが、中に天皇がいてというようなイメージで書いている。I期であろうがII期であろうがどこでとは示していないが、その元として、この建物が行幸に関係あるのではということがあったので、イメージで描いている。
- B 委員 現代人のイメージする宴会とは違う。「会」の字を取って、宴(うたげ)としてはどうか。
- A 委員 「会」の字をとろう。
- 事務局 では、儀式や宴にする。
- B 委員 宴会をやっていたらもっと遺物が出てくるのではないか。この辺りでは、奈良時代の井戸は出

ていないか。

- 事務局 奈良時代の井戸はない。下の方に平安時代の井戸がある。
- D 委員 文章の最後のところ、正殿の位置と大きさを表しているのではないか。位置だけか。
- 事務局 大きさもほぼ同じだが、まったく同じではないのでとりあえず位置だけにした。
- D 委員 まったく同じではないのは、どこか。高さか。
- 事務局 高さである。
- 事務局 しかし、位置と大きさの方がわかりやすい。
- D 委員 位置と大きさを表したでいいだろう。だいたいボリュームは変わらない。
- 事務局 では、位置と大きさにする。
- B 委員 説明文の下の図のキャプションの「現地表示と復元案」。これは意味がよくわからない。
- D 委員 もっと工夫して欲しい。
- B 委員 もし、並べるのであれば、発掘調査の様子があり、復元案があり現地表示があるとなければ、どちらがどちらかわかりにくい。
- D 委員 現地表示という言葉がわかりにくい。
- 事務局 今日の前に建っているものは、何と言うとよいか。
- E 委員 並べるなら、同じ方向のものを並べなければならない。左右反対なので、わかりにくい。
- 事務局 両方とも同じ側から眺めた方がいい。
- E 委員 現地の建物はあるのだから、復元の内部を表示するとか、本来はこのようなものだった、などそれだけを書いたらどうか。
- 事務局 復元の方だけにした方がいいか。
- 事務局 現地表示の方を写真にするとか。
- A 委員 これは古代の物を復元したものではないと表示する。梁とか言われても、一般の人はわからない。
- 事務局 梁を書くかどうかは別にして、内部空間が異なることが分かってもらいたい。
- E 委員 では、「想定される本来の建物」とか言えれば、今建っているものと違うということがわかる。古代風という言葉をとるとよい。
- B 委員 どこが違うかわからない。
- 事務局 今建っているものと復元案を載せているが、この図面は最近急いで会議用に作っただけで、実際には、会議のご意見を聞いて作る予定であった。今から作るので、想定される正殿の建物の図面を何らか作る。
- E 委員 それだけにする方が、対照させるよりわかりやすい。
- 事務局 実物は現地に建っているもので、想定される建物の図だけ載せる形で、文章の方は、「古代風の」という言葉をとるといって進めさせていただく。
- D 委員 これを検討するのは今回だけか。
- 事務局 今日で終わっておきたい。
- B 委員 箱崎委員に書いてもらってはどうか。
- 事務局 そのように相談する。
- B 委員 箱崎委員は専門家なので、わかりやすく書いてもらうよう頼むとよい。どうしたらいいか、聞くと

よいだろう。

- 事務局 説明板を建てたところから見た建物と、復元図が同じ方向に見えた方がいい。
- E 委員 今示されているものは、ずれている。同じ視線ではない。
- B 委員 図は、建物構造を示している。
- 事務局 そうだ。
- A 委員 実際のものがどんなものであったかはわからない。
- E 委員 だから、想定されると書く。
- 事務局 図は、箱崎先生にご指導いただき、先生方には別途資料を送らせていただきたい。
- A 委員 メールでよい。
- B 委員 「現地表示」ではなく「表示建物」としてはどうか。

〔八脚門の説明板について〕

- D 委員 八脚門の表題は、「八脚門(東門)・塀」だ。
- 事務局 修正する。
- B 委員 これは東門か。正門とは言わないか。
- 事務局 去年議論したが、史料では、「門」と書かれるか「何々門」と書かれるかである。
- B 委員 正門と書いてはどうか。
- 事務局 正門という言葉は、史料上は出てこない。
- B 委員 正殿という言葉は。
- 事務局 正殿はなく、庁屋と書かれている。
- B 委員 庁屋は平安時代か。
- 事務局 だいたい平安時代。
- B 委員 『上野国交替帳』か。
- 事務局 そうである。
- B 委員 政庁があれば正門がある。東門だと南門もあると思われる。
- 事務局 その辺は、「門」とするか、方角プラス門とするか。
- B 委員 東門と書くと、東を向いているイメージは持ってもらえる。
- 事務局 東門と書くと、南門とか西門があると思われる可能性はある。
- A 委員 八脚門と塀でいいのでは。東門と書くと南門はどこか、とかの話になる。
- 事務局 では、八脚門・塀とする。
- A 委員 八脚門の写真は、これを使うのか。
- 事務局 探した中ではこれが一番よかった。
- A 委員 これだけ柱が書いてある。
- 事務局 これは図上で柱を書き込んだだけである。
- A 委員 つまり他のものは柱を表示せず、八脚門だけ柱を表示するのか、ということを知りたい。
- 事務局 そうである。表現が難しいが、前と後ろの柱8本だけを数えて八脚門といっているということを説明したいために立てている。
- A 委員 その説明のために立てているのか。
- 事務局 柱は12本ではないかと言われるので。

〔脇殿の説明板について〕

- D 委員 脇殿は離れているが、説明板を建てるのはこの3、4のうち、現在地と書いた一方にしか立てないか。
- 事務局 その予定であるが、両方立てた方がいいか。
- D 委員 それを言い出すと大変なことになる。正倉は、全部に立てるか。
- 事務局 1か所の予定である。ただし、広いので4隅というか3隅に立てることは可能である。
- 事務局 施設配置がわかる全体図が必要である。
- 事務局 全体図はパンフレットを考えている。
- D 委員 脇殿の説明の「役所の長官の配下」というのはどうか。「役人」ではどうか。役人では長官も入るので適当ではないか。
- 事務局 一番偉い人より下の人、ということを何とか言いたい。
- B 委員 長官以外の役人、ではどうか。配下という言葉はどうかと思う。
- D 委員 「役所の役人たち」くらいでどうか。
- A 委員 「役所」もいらない。
- B 委員 この中には、郷(さと)の役人も入る。
- D 委員 「たち」に全部入る。
- 事務局 では、「役人たち」とする。

〔長大な建物2の説明板について〕

- E 委員 穎と穀が両方写真が出ているのはなぜか。
- 事務局 正倉院のところで稲の形状を説明したいと思っていたが、正倉の説明には、建物のイメージを入れたので、稲の形状の説明をするところなくなった。長大な建物の説明に、「税として納められた稲が入れられていた」、という記述があるので、両方の形状をここに入れこんでいる。
- E 委員 実際に入っていたものがどちらかは、わかるのか。
- 事務局 大型建物に入っていたのは稲穂状態だと考えている。
- B 委員 穎の写真だが、基本的には葉はない。伊勢神宮は、抜い穂でやっている。抜いたやつが本当である。抜い穂なので葉はついていない。
- 事務局 この写真は仮で入れていたが、葉は気が付かなかった。
- E 委員 結局、穀が納められていたのか。
- 事務局 穀は、大半は正倉院に入っていたはずである。
- E 委員 こっちは穎ということはわかっているのか。
- 事務局 正税帳の文献史料からの推定である。
- E 委員 言われないので、わからない。
- 事務局 正倉院の機能の話としては入れたいと、個人的には思っている。
- 事務局 両方書いてあると、両方入っていたと思われる。
- 事務局 稲穂は消す。両方の説明は作成予定のパンフレットとする。
- E 委員 倉と大型建物はどう違うか。
- 事務局 倉は、総柱建物で、床を支える柱がある建物である。
- E 委員 それは形状の説明である。機能はどうか。

事務局 機能としては、側柱建物が屋(おく)だった場合は、正税出挙で、稲の出し入れが多いので、高床でない建物に入れられていただろうと考えられている。

E 委員 そっちが穎か。

事務局 そうである。稲の種類がわかるようにということで、穎で入れている。そもそも、租は穎の形態を刎にしている。正税出挙は、史料上は束で単位が表されているので、稲穂だったと考えられている。

E 委員 説明を聞いて少しわかったが、そうするとここに穀の写真があるのは余分である。正倉院の説明ならわかるが。

事務局 では、穎の写真だけにして、正倉院のところに穀のイメージを入れる。正倉院のイメージは、実は、穀をざらざらと入れ込んでいるイラストになっているが、穀そのものは書かれていない。

事務局 ⑧の方は、稲穂だけにする。

B 委員 和泉監正税帳を分析したことがあるが、屋も倉もほとんど同じ規模で、長大な建物はなかったので、長大な建物を屋といってよいものか。

事務局 他の正税帳では、屋に穎が入っており、和泉監の場合は、丸木倉、言い方は悪いが構造が簡易なものには穎が入っていて、それは穎であれば構造が簡易で壁が薄い加減でも穎が落ちないだろうという議論だったと思う。屋は他の正税帳からで、和泉監については確かに先生がおっしゃるとおりである。

B 委員 長大な建物の穎が入っていたかは問題である。

事務局 それは歴史館の壁面の説明に書いてしまっている。

B 委員 土間構造だとあつという間に湿気る。

事務局 ここは板張りと思う。たとえば根太などであれば、削平されたら痕跡がなくなるので発掘調査では見つけられないので、床を張っていても検出できない。悩んだが、稲穂と書いている以上、稲の違いの説明があつたらいいと思った。

B 委員 葉のない穂の写真にしてもらいたい。神宮にある。

事務局 写真を借りるときには先生にご相談させていただきたい。よろしく願います。

〔北倉・南倉の説明板について〕

B 委員 政庁の後ろの倉、「文書・武器・穀物」とあるが、調度品などは入っているのではないか。正殿の後ろという位置からしても、日常的に使う調度品が入っていたというイメージがある。

事務局 この倉には、何を入れていたかわからないので、並べただけ。

A 委員 最初は、穀物が頭に並んでいたが、穀物が入っていたか分からないので後ろに回せと言った。

B 委員 儀式に使う調度品が入っていたのではないか。机とかイスとかも。

事務局 何が入っていたかわからないので、調度品も入れる。穀物を入れたのは、他の郡衙、例えば弥勒寺東遺跡の政庁の後ろの倉などを参考にしたためである。弥勒寺東遺跡の場合は、その後、正倉院が展開していくが、この場合は、なくなってしまうので、考え方がいろいろある。武器は、天武朝の武器の収公規定があるので、武器でもいいのかと思った。順番としては、何を一番にしたらよいか。

B 委員 文書・調度品・武器など

E 委員 | どうせ直すなら、黒丸にした方がよい。
事務局 | 直します。
D 委員 | 調度か調度品か。
B 委員 | 調度品と品を入れた方がいい。
事務局 | では調度品にする。

〔正倉院堀の説明板について〕

A 委員 | 一通りご意見が出たと思うが、ほかに何かあるか。
B 委員 | 正倉を取り囲むだと、一棟ずつの正倉の周りと思われる。正倉群のまわりの堀である。正倉群が院で、堀で囲まれているところが院である。
D 委員 | 正倉群と書くと、また新しい言葉が出てくる。正倉院堀と書いてある。
B 委員 | 倉庫令には正倉院という言葉は出てくるか。
事務局 | 出てこない。
B 委員 | あと池渠(いけみぞ)と言っているか。渠はいいが池はどうか。
事務局 | 渠だけにするか。
A 委員 | 正倉院の周囲というより、「正倉院には、防火・防犯のため」で、周囲はいらない。
事務局 | 正倉院には、にする。表題は、「正倉院堀(渠)」なのか
B 委員 | みぞは、サンズイの溝だったか、暗渠の渠だったか。
事務局 | 暗渠の渠である。
D 委員 | 渠は小学生には難しくないか。
事務局 | カッコ内は史料用語なので、ここはルビをつける。
A 委員 | では「正倉院堀(渠)」してもらいたい。ほかにご意見は。
B 委員 | 正倉院の堀と「の」を入れてはどうか。

〔正倉の説明板について〕

F 委員 | 正倉⑨～⑮のところの数字の単位が、㎡と書いてあるが、mの間違いではないか。
事務局 | 修正する。